【学校通信】

平成 28 年 4 月 14 日

第 3 号

西中の風

伊丹市立西中学校長
大西　規之

第７０回入学式を挙行しました

４月１１日（月）に第７０回入学式を、たくさんの来賓の皆様に見守られながら挙行いたしました。１７１名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、今年、本校創立７０年を迎える記念すべき年に入学されました。今まで２万人を超す卒業生が築いてこられた合唱や挨拶などの西中学校の素晴らしい伝統を受け継ぐとともに、新たな伝統を作り上げてください。期待しています。

第２号では､学校教育目標について書きましたが、本号では、学校教育目標の４つの「めざす生徒像」について入学式で述べた式辞を抜粋して書きたいと思います。

～　式辞からの抜粋　～

「新一年生の皆さんがこれから三年間にわたる中学校生活を送るにあたり、四つのことをお話しします。

一つ目は、進んで学習に励む生徒になって欲しいと言うことです。

中学校では、人から言われてから勉強するのではなく、分からないところは先生にどんどん質問したり、本やコンピュータを使って調べたりするような積極的な態度、そして、授業中に進んで意見を言ったり、みんなの意見をまとめて発表したりすることが大切になってきます。

二つ目は、自分を大切にする心と他の人への思いやりの心を持つ生徒になってほしいと言うことです。

まずは、自分を尊敬し、大切にしてください。そうすると悪いことはできなくなるし、人間として軽蔑されるようなこともしなくなります。そういうふうに生き方が変わると、理想に近い自分、他の人も見習いたくなるような人間になっていくことができます。

また、他人を攻撃する言葉ばかりを口にするのではなく、感謝する心や思いやりのある心を持ち、「有り難う」「ご苦労様」「ごめんなさい」などと、周りの人と温かい言葉で心を通わすことができる人になってください。

三つ目は、生活の基本として､「時間を守ること」「誰とでもさわやかに挨拶ができること」「人の話をしっかりと聞けること」「服装を正し、規律を守ること」など、基本的生活習慣をきちんと実行できる生徒になって欲しいと言うことです。

中学生になったと言うことは、大人への第一歩を踏み出したと言うことであり、卒業後はよき社会人となり、世の中に貢献できる人となるための基礎を学ぶということでもあります。生活の基本だけはしっかりと身につけて欲しいと思っています。

最後四つ目は、授業や行事、部活動などに全力で取り組む生徒になってほしいと言うことです。

のんべんだらりと毎日を送れば時間だけが過ぎ、思い出として残るものは何もありません。同じ中学校生活を送るなら全力で取り組んでほしいと思います。全力で取り組んだ時には、充実感や満足感、そして感動があります。仲間への連帯感や仲間へ感謝の気持ちが自然と生まれてきます」

以上

入学式の時には、新入生だけでなく、２、３年生も聞いてくれていました。本校の「めざす生徒像」です。先生たちも５つの「めざす教師像」に向けて頑張りますので、皆さんも４つのことを義務教育の間に成し遂げてください。